

尼同教 60年

尼同教の結成とその後の取組 ⑫

尼崎市人権・同和教育研究協議会 副会長 三澤 雅俊

前号に引き続いて、尼同教のあゆみを「尼同教 50 周年記念誌」で執筆していただいた小餅谷信行さんの「40 周年から 50 周年まで」をもとに振り返ってみたいと思います。今回は、専門部の活動のつづきです。

尼同教だよりのカラー化

この 10 年間で「尼同教だより」は 3 回の編集方針の変更がありました。1 回目は 73 号（02 年 8 月 31 日発行）から文字を大きくしました。2 回目は 75 号（03 年 10 月 30 日発行）から写真を多用することになったことです。この段階ではまだ内容に「同和問題 Q&A」や関係者の寄稿など学習資料としての要素がありました。81 号（06 年 8 月 31 日発行）からは、体裁も内容もガラッと変わり、A4 版 4 ページ立て、カラー刷りとなり、内容も各種事業の案内、報告が中心になってきました。見易く、読み易く、視覚に訴える。これは時代の要請でしょう。

おわりに

「はじめ」にも書きましたが、この 10 年間は特段の動きも無く、恒常的な事業を、淡々と、あるいは粛々と積み重ねてきた 10 年間だと思います。これは、なにも活動が停滞したものではなく、教育、啓発といった営みは本来的に地道な活動の積み重ねであるからだと思います。

発表された報告の引用が多く、やや冗長なきらいも否めませんが、地道な活動がイメージし易いのではないかと思います。

《あとがき／三澤 雅俊》

尼同教の結成とその後の取組①～⑫まで、「尼同教 50 年のあゆみ」の中の「50 年の足あと」（田中信行さん）、「40 周年から 50 周年まで」（小餅谷信行さん）、お二人の文を振りかえってきました。1958（昭和 33）年 2 月に「尼崎市同和教育研究協議会」として結成されて以降、現在まで多くの方々の尽力で取り組まれてきたことに思いをはせながら読み返させていただきました。このお二人もそうですが、すでに故人となられた方も多く、心からご冥福をお祈りし、また感謝を申し上げます。

これら先達の取組を引き継ぎながら、人権課題の解決に向け取り組んでいけたらと思います。

※引用部分は原文のまま記載しています。

人権・ひとこと

この度、編集委員をさせて頂くことになり、とりあえず私の身近な人権について考えてみました。

私は中 3、小 4、小 1 の 3 人の娘がいます。

3 人とも同じ親のもとで同じように育ったはずですが、誰とでも話せる子、恥ずかしがりやの子、マイペースな子、それぞれ異なる性格に育っています。これから成長していく中で、異なる 3 人のそれぞれ良いところを伸ばしながら、自分のやりたいことを見つけ、一人一人持って生まれた自分を大切に進んでいって欲しいと思っています。

私が子どものころはまだ近くに田んぼや畑がたくさんあり、パソコンも携帯も無く、テレビを見ているぐらいでした。今はゲーム、YouTube、SNS などが発展し、情報が増え、自由で可能性の広い世の中になりました。

一方で、広い自由な世の中で迷ったり、不安を感じたり、劣等感を感じたり、人を責めてしまう可能性も増えています。

その広く変化していく世の中で、迷いながらもそれぞれの自分の道を見つけ進むには、子どもたちが自分で考え、自分のやりたいことを見つけチャレンジしていくことが大切だと思います。

その自分で考える力をつけるためにも、私の身近な人権として、子どもたち一人一人を大切に、できるだけ話を聞くこと、子どもの考えを尊重することを心掛けたいと思っています。

尼崎市立園和小学校 PTA 会長 時水 健一郎

・編集後記・

7 月 27 日に第 71 回兵庫県人権教育研究大会阪神地区大会が開催されました。小学校教育部から、尼崎市内にある児童養護施設と小園小学校との連携が報告されました。様々な環境のもとで過ごす子どもたちがいること、施設職員や教職員が情報を共有しながらその子どもたちを支援していることを改めて感じられる貴重な報告でした。

また、社会教育部からもご自身が週末里親として里子と過ごした体験を報告されており、各々が自分のできることで子どもたちの支援に真摯に取り組んでおられるのだと思いました。

今後も尼崎市の子どもたちにとって健やかに育つ環境が、より整えられていってほしいと願っています。

編集委員
山本 育子 高品 玲 時水 健一郎



尼同教では、
団体会員・個人会員を
随時募集しています。
お気軽に事務局まで
ご連絡ください。

尼崎から人権を考える

尼同教だより TUNAGARU

つながる

第 117 号 2024.9

■発行 尼崎市人権・同和教育研究協議会
〒661-0024 尼崎市三反田町 1-1-1 社会教育課内
TEL/06-4950-0405 FAX/06-4950-5658
E-mail/ama-syakaikyoiku@city.amagasaki.hyogo.jp

定期総会 5月17日

2023 年度の実施事業・会計収支決算の報告と
2024 年度の役員・事業計画・会計収支予算を
提案し、すべて承認されました。

2024（令和 6）年度 役員・専門部長

会長 … 寺岡 陽子（個人会員）
副会長 … 山本 育子（個人会員・尼崎ユネスコ協会）
副会長 … 三澤 雅俊（個人会員）
副会長 … 能登 誠二（個人会員）
副会長・社会教育部長 … 長澤 健祐（部落解放同盟塚口支部）
副会長・PTA 部長 … 橋本達夫（尼崎市 PTA 連合会）
会 計 … 海治 博（尼崎市社会福祉協議会大庄支部）



就学前教育部長（保）… 浅田 尚子（水堂保育所）
就学前教育部長（幼）… 谷澤 三千起（長洲幼稚園）
小学校教育部長 …… 高島 洋（水堂小学校）
中学校教育部長 …… 西村 純一（大庄北中学校）
高等学校教育部長 … 藤野 日出男（尼崎工業高等学校）

人権・同和教育推進大会 6月12日

性はグラデーション ～ありのままのあなたが輝ける未来を～

講師に F t M（女性から男性）トランスジェンダーの歩夢さんとお父さまの東根 泰三さん、ファシリテーターに MixRainbow 理事長で自身も M t F（男性から女性）トランスジェンダーである いよた みのり さんを迎え、トランスジェンダー当事者の思い、また、その親の立場での心境など、細やかにお話いただきました。後半には歩夢さんのパートナーで M t F トランスジェンダーの末悠さんがサプライズで登場。終始笑いの絶えない、和気あいあいとした講演会でした。



CONTENTS

- ・兵人教阪神地区大会（7 月 27 日）の様子をご紹介
- ・保護司のお仕事…尼崎市保護司会 会長 正岡 康子 さん
- ・「尼同教の結成とその後の取組⑫」…尼同教 副会長 三澤 雅俊 さん
- ・「人権・ひとこと」…尼崎市立園和小学校 PTA 会長 時水 健一郎 さん

バックナンバーを
ご覧いただけます！



尼崎市 HP のトップページから
ページ番号 1011854 でご検索ください。